

ホットな話題

AKITAKATA
My Town Topics

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先
安芸高田市 政策企画課
TEL 42-5612
〒731-0592
安芸高田市吉田町吉田791番地
E-mail info@akitakata.jp



地元の川で育った鮎 鮎の収穫祭

5月に可愛小の児童が可愛川(江の川)に放流した鮎の稚魚が成長した頃を見計らい、10月21日(火)、鮎の収穫祭が開催されました。鮎の稚魚放流と収穫祭は、可愛川漁協可愛支部の協力のもと、可愛小4年生の児童を対象に毎年開催されています。

児童たちはおいしそうに鮎の塩焼きを食べており、中には「初めて鮎を食べた」と言う子もいました。漁協による投網の実演や、児童たちが投網を実践する場面もあり、想像以上に重たい網に驚きながらも貴重な体験をしていました。



ひろしまフードフェスティバル 安芸高田市の名産品が集合

10月25日、26日の2日間で、82万人が来場したひろしまフードフェスティバル。広島市中央公園会場では、安芸高田市から7店舗が自慢の産品を出品しました。

安芸高田の美味しい物をたくさんの方に味わっていただき、早々に完売したものもありました。神楽五色麺のひとつ「夜叉うどん」を2日で1,000食以上提供するなど、普段は安芸高田市でしか食べることのできない名産品を市外の方にも広く知っていただく機会となりました。



歴史あるカエデを愛でる カエデまつり

毎年、見ごろを迎えた頃、近隣住民の皆さんの協力により唯称庵跡のカエデ林で開催されているカエデまつり。このカエデ林は、約190年前、唯称庵に17年間に在った本願上人が京都の高尾から苗を取り寄せて植えられたものです。

今年は11月8日(土)に開催され、豚汁や焼きいも、新鮮野菜の販売が行われました。また、夜にはカエデがライトアップされた情緒的な雰囲気の中、上河内神楽団による神楽上演も行われました。



輝く未来に向かって 青少年育成フェスティバル

11月8日(土)、甲田文化センターミュージズで、青少年育成フェスティバルが開催されました。

甲田空手道スポーツ少年団修武館による「空手演武」披露の後、市内の小中高生が意見発表の場で、日頃感じている想いや海外ホームステイで体験したことなどを堂々と発表していました。甲田町出身で、第55次日本南極地域観測隊に参加した植田 勲さんによる「南極ってどんなところ?」と題した講演では、昭和基地内や南極の動画を見せたり、クイズを出したりして、南極の様々な調査や活動の内容をわかりやすく来場者の皆さんに伝えられました。



ウォーキングで健康づくり 第2回安芸高田市湧永庭園ウォーク

近年、病気やケガをせず健康寿命をいかに伸ばすかが注目されており、健康を維持するためには、ウォーキングが効果的であるとされています。10月18日(土)、第2回安芸高田市湧永庭園ウォークが開催され、参加した258名の方々が爽やかな汗を流されました。

今年の湧永ウォークでは13kmコース、7kmコース、3kmコースが設けられ、参加者の皆さんは、自分の目標に合わせてウォーキングをされていました。ウォーキングの途中、辛そうな表情をしていた方も、ゴールしたときはすがすがしい顔で、達成感を感じておられるようでした。



神楽を満喫 第42回高宮神楽まつり

深夜まで舞い続ける伝統のまつり、年に1度の高宮神楽が10月11日(土)高宮ハーモニー広場で開催されました。

他県ナンバーの自動車も見かけられる駐車場へ車を止めると、笛や太鼓の音が聞こえてきます。会場入口の鳥居をくぐるとたくさんのお客さん、出店が目飛び込んできました。

過ぎゆく秋の一夜を、好みのものを食べたり飲んだりしながら、ゆったりと神楽を楽しんでおられるようでした。



ながーい巻き寿司214m 第32回たかみや大地の祭り

これぞ秋晴れという、イベントには絶好の天気恵まれた10月19日(日)、第32回たかみや大地の祭りが高宮支所ふれあい広場で開催されました。

西暦にちなんだ214メートルのながーい巻き寿司を、高所作業車のバケットに乗った実行委員会のメンバーの軽妙な指示に合わせて多くの方が一列に並んで一斉に巻き上げました。

皆さんの気持ちを合わせて完成した巻き寿司は、切り分けて参加者が持ち帰られました。